

0

150 cm

10

②

SEKISUI JUSHI

20

清衣集卷之三

612

シ

4

612
7
4



續世継第之

とくらの才こ

わとこふ

ひの祿

あつらゐる

内宴

なまのまゝ

をたれられ

いれろのつま

ゆゑの松

たしふ
さのみくくわのちていり
ゆーなひはむらあといなり
く井ねるをけーあて
たりゆーはまやうひめく
ううてくくーくはふに
きたくはらくのちろさく
まりゆひてくくはと
とれくは方くくはくそに
くゆーふひてまりく

うの娘の形をなにもせむを終りす成
まきり接ぎあるるひをなほひめてう
せ終るゝもなうなすゆひうはせぬ
て厨のなれゝふにちをきてあは
のまをなれものせ終るゝなになに
くまをちをなれゝふにちをきてあは
いぬをちをなれゝふにちをきてあは
ーはきんゝりちをなれゝふにちを
らるゝひをなれゝふにちをきてあは
し中をなれゝふにちをきてあは

かろゝーひをなれゝふにちをきてあは
よにゝのりゝひをなれゝふにちを
わをなれゝふにちをきてあは
ゝをなれゝふにちをきてあは
せ終るゝに和すゝひをなれゝふに
らをなれゝふにちをきてあは
まをなれゝふにちをきてあは
さ終るゝーひをなれゝふにちを
らゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

くぬきりきりきりきりきりきり
よくいふいふいふいふいふいふ
ひらきききききききききき
くぬきききききききききき
肥前のかきききききききき
けしーなりいそけいふふのうーさ
あきたきききききききききき
ふたりのきききききききき
てーらわきーてーらわきわき
きききききききききき

あきのかきききききききき
きききききききききききき
くぬきききききききききき
けしーのきききききききき
細きききききききききき
けきききききききききき
きききききききききききき
けきききききききききき
きききききききききききき
きききききききききききき
きききききききききききき
きききききききききききき
きききききききききききき
きききききききききききき

こやういつくかりぬんをんとみえぬひ
一はきひていつくかりぬんをんとみえぬひ
こやういつくかりぬんをんとみえぬひ
らよたりいつくかりぬんをんとみえぬひ
のこやういつくかりぬんをんとみえぬひ
こやういつくかりぬんをんとみえぬひ
まのひつちや、暗は内親王ハ系統と
なりく一統はやくて命なり一統はやく
てあさくたのひつちや、暗は内親王ハ系統と

てのひつちや、暗は内親王ハ系統と
まのひつちや、暗は内親王ハ系統と
なりく一統はやくて命なり一統はやく
てあさくたのひつちや、暗は内親王ハ系統と
こやういつくかりぬんをんとみえぬひ
らよたりいつくかりぬんをんとみえぬひ
のこやういつくかりぬんをんとみえぬひ
こやういつくかりぬんをんとみえぬひ
まのひつちや、暗は内親王ハ系統と
なりく一統はやくて命なり一統はやく
てあさくたのひつちや、暗は内親王ハ系統と

より遠く一やなかり一この急な
しうはるをねくは水信元年十一月
やねきんのもつりのも一又非あふ系ぬ
めくくもてつりねりー二系のみ
くきふくくえんをねくは保元
年八月十日のやうていりーあつを
ねくー女くくえんをねくーくえん
六日中ふくくえんをねくー水信元
年八月十日のやうていりーあつを
ねくー女くくえんをねくーくえん

いふくゆきと保元二年二月十日院号きて
めく松の院くーめくくは師母国母
くたりーゆーりくくくのめくみー
くえんをねくくえんをねくーふくく
くね院くえんをねくーくくくくく
く下福くくくくくくくのたりーゆ
くくくくーふ女院くくくくくく
くきり女院くくくくくくくく
くくくーあつをねくくくくく
くくくくくくーくゆ戒の師くくく

ありのそくいふたともせ給ふ所んはち
みりたり保延三年十二月のよりちよ
部大輔教光といひてせむといふ
まうといひ給ふんゆり殿上人とい
ふて給ふてふれけりといふ
とていふてふれけりといふ
とらめ同五年十二月廿日沙元帳せら
給ふ十といふてふれけりといふ
久壽二年七月廿五日位といふてふれけり

とていふてふれけりといふ
ゆたにそく大寺のたてかきせしめ
てふてふれけりといふ
んゆりちとてふれけりといふ
のたてふれけりといふ
六日の位といふてふれけりといふ
かきふれけりといふ
あまのたてふれけりといふ
ゆりちとてふれけりといふ
ゆりちとてふれけりといふ

[illegible]

ひいふらと記録所にてはう系院例
てゝゝたちねえんのやき二人一人な
よりのあまゝさるれりてよのしとさ
ちを終つものもさるゝわんそく月
まつさうかきせらを終十月はあきらまつ
いてゝゝをせ終殿金ともにたもの
し面白殿へせ終ふもやつらゝおのつさ
と七十二人とうろ升終りなしてすさ
うめうつりとなれども世よゝいさうさ
がうゝゝゝをねいあらうの清原殿を

りきくたうーゆす女帝が殿殿を華殿
なうゆねあひる殿まいさてんはた
ーゆす女帝されもさうそののけさ
高し中あゝ美音殿はたーゆすの
女帝藤景殿うたねありられたるの
てふりもさう常はたつかふさす
女帝龍衣若令うたねあまうりて
このつかうりーまゐるうりた
ます女帝いさのお令はるうり
うりやもあいなうーつかうり
女帝の

おうゆねあまうりたうり宣耀殿
つかうりあまうりたうり
つかうりーいもあまうりた
なまうりーうりたうりーあや
うりあまうりたうりたうり
いもーうりたうりたうりた
のうりたうりたうりたうりた
うりたうりたうりたうりた
うりたうりたうりたうりた
うりたうりたうりたうりた
うりたうりたうりたうりた

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

[illegible]

なほふちなりけりといふえちふに
ひくーさんよなすーのか細え
うじふもぢうもなふもくもー
こりけりもふなふくもくもく
てふえあふくもくもくもくもく
さふくもくもくもくもくもく
うもくもくもくもくもくもく
もくもくもくもくもくもくもく
そくもくもくもくもくもくもく
くもくもくもくもくもくもく

けりもくもくもくもくもくもく
のくもくもくもくもくもくもく
あふもくもくもくもくもくもく
八月十六日くもくもくもくもく
けりもくもくもくもくもくもく
のみくもくもくもくもくもくもく
たふくもくもくもくもくもくもく
けりもくもくもくもくもくもくもく
くもくもくもくもくもくもくもく
くもくもくもくもくもくもくもく

るうりけりやなむとぬいさうにせぬ
ましましむのねんいぢりさくけ
うさしめ——てううさむのさむら
ぬ六七年のやよと十余人らうへた
むせ——ういぬくうさのさむらぬ
ひてやうくうらむ——お推方と
なむたせ——うう部（むか）うけ
てとさうさ——

このほろとちいさげいさうさ
ちうさ——ううさうさう

うさうぬさうりけりこのあや大納言
いさうさうさう——や十余人——うた
うさうさうさうさうさうさうさう
さうさうのさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさう
けのさうさうさうの二位うさう
さうさうさうさうのさうさうさう
うさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさう

おたりていさぐさみ終ら

我らうはあつたのちとしまわ

しうたあふもえらたしに

とやういふやうに

たうのやうに

この君ういれゆめういふたうとらう終
てうと終ういふうの女はういふと
うつら終てたうとあういふと時とあ
ういふたういふてあうのうとあうい
めく俱舎頑たういふとあうたうい

らういふとあういふとあういふとあうい
とあういふとあういふとあういふとあうい
智あういふとあういふとあういふとあうい
終ういふとあういふとあういふとあうい
むういふとあういふとあういふとあうい
とあういふとあういふとあういふとあうい
らういふとあういふとあういふとあうい
けういふとあういふとあういふとあうい
あういふとあういふとあういふとあうい
のせういふとあういふとあういふとあうい

院のいよやとてたりゆふあはれ
まじりしなりこの足しをなれども
けつてせむもいふに店のくわとく
まじりて贈るを店文書ひとまり
一はむやの梅茶大納まゝありさな
あはれひりぬるわとれぬらん
しりしりしりしりしりしりしり
はひりしりしりしりしりしり
まじりしりしりしりしりしり
さえはひりしりしりしりしり

はひりしりしりしりしりしり
ありあはれしりしりしりしり
一はひりしりしりしりしり
しりしりしりしりしりしり
一はひりしりしりしりしり
まじりしりしりしりしり
ちりしりしりしりしりしり
みしりしりしりしりしり
しりしりしりしりしりしり
しりしりしりしりしりしり

ちきりいふふもえいふふふふふふふ
 みいふふふふふふふふふふふふふ
 ちきりいふふもえいふふふふふふふ
 六月十五日にふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふ
 一城ありふふふふふふふふふふふ
 位とふふふふふふふふふふふふふ
 くにふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふ

とあゝうそつせけふにうさる
ちゆうしんそくじけいしあやひあ
なしくそつせけふにあふ一なる例も
たうーゆーけつとうきこえさけりとの所
母今中交育より一は性ある前の
あやうなもののせいよめたりうすれさ
のうつきれともほろあさとの痕はうと
らんるこのゆいひくのうめいひさ
うけわいの中交二条のりなりまふ縁
しもいふて國母とてうさうらふあり

のりくはるなりーこの店に母あきよ
この民部このじふちよたーゆする
はーいふふふふふふふふふふふ
にーゆふふふふふふふふふふふ
ゆふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ



